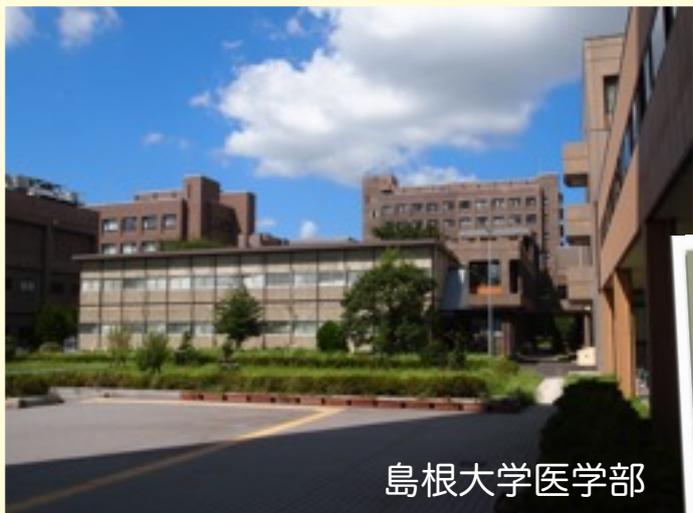


医療教育統合開発センターNews

2010年9月

CENTER FOR THE DEVELOPMENT OF MEDICAL AND HEALTHCARE EDUCATION

第2号



島根大学医学部



柳田邦男氏



第30回 国内医学部視察と討論の会 に参加しました

平成22年9月16,17日に島根大学医学部で開催された、国内医学部視察と討論の会に出席してきました

この会は日本医療振興財団主催で、国公立大学、私立大学が交互に担当大学となって毎年1回開催されるものです。昨年は日本医科大学で行われましたが、今年は島根大学医学部で開催されました。

2日間に渡り、開催担当大学の特色や取り組みなどのプレゼンテーションを拝聴したあと、その内容や成果等に関して討論を行うもので、地方・医療過疎の代名詞といわれる山陰地方の大学における地域医療への取り組み、いわゆる”地域枠”医学生の採用の方法論

など、現在、国・文部科学省・厚生労働省が最も力を入れようとしている分野における島根大学の取り組みについて興味深く学び、忌憚りの無い意見交換を行って参りました。

島根大学医学部では、学生採用枠105名中、地域枠、緊急医師確保枠を含む推薦採用枠が45名にも及び（他5名は学士入学枠）、地域に根ざす医師確保への意気込みを見せつけられる思いがしました。

地域枠推薦を受けたい受験生は、地域の医療機関、福祉協議会等での1週間の実習が課され、その後

で計2回、地元市町村の首長による面接が行われ、首長による推薦状提出が要求されるなど、医師になった後に地元へ戻ることを前提とした形の受験形態をとっている所に特徴があると感じました。

地域枠採用の医学生との意見交換会も設定され、実際の学生の思いや考えを聴くチャンスもあり、岡山大学医学部で地域枠学生採用を今後度のように募集してい

くかなどについて深い示唆を受けました。

（写真は地域枠学生、初期研修医との意見交換会の様子）



平成22年8月14日に川崎医科大学で開催されたKARST（倉敷Advanced Resuscitative Surgery for TRAUMA）に

参加しました。外科系を目指す若手医師に、生体を使って手術手技を訓練する取り組みで、米国ではATOM（Advanced Trauma Operative Management）として有名なコースです。

平成22年7月30～31日に 東京 都市センターホテルで開催 された医学教育学会に参加しました

「社会とともに歩む医学・医療教育を求めて」と題され、日本医科大学が主幹で開催された学会総会に参加してきました。

医学部定員増をめぐる諸問題、初期研修制度の今後、客観的臨床能力試験OSCEの在り方など、さまざまな医療教育問題に焦点を当てた学会でしたが、昨今のOff the job trainingの充実に対する要望に伴うシミュレーション教育・スキルラボに関する発表も多く見られました。

ご存知の通り、当センターでは今年度から5カ年でシミュレーションスキルラボの構築・運営とチーム医療教育の充実・確立を達成させるための文科省予算が配置されています。それを踏まえ、各大学や病院などで現在運営されているシミュレーションスキルラボの現状や問題点などについて、意義ある発表を多く聴講してきました。

特別講演 柳田邦男氏

「医学の急速な進展と对患者関係-2.5人称の視点の提言-」

7月31日には柳田邦男氏が表題の講演をされました。

「私」にとって、家族や身内の死は2人称であるが、医療者にとって、患者さんの死は「感情に流されず、客観性を要求される故に」3人称で対応される」ことが当然とされてきた。しかしそれ故に、時に科学主義に偏ってしまうあまり、視野狭窄に流されてし

まう可能性がないわけではない。これからの医療は、医療者としての3人称の立場を保ちながら、更に一步踏み込み、より患者や家族に心情的に近づいた「2.5人称の視点」を持つことが医療関係者にとって必要ではないか、といった趣旨の講演を、御自身の体験などを元に話されました。

全文が紹介できないのが残念ですが、非常に含蓄のある講演内容であり、医療者として再自覚を促されるような内容でした。

薬学部門近況報告

中国四国広域がんプロコンソーシアムのファカルティメンバーとして平成22年9月6～9日の期間、Johns Hopkins Singapore International Medical Centerにて抗がん剤治療に関わる薬剤師の役割、病棟回診、外来診察見学、Tumor Board Meetingや看護師教育のWSへの出席など、がん治療に関する研修に参加してきました。 薬学教育部門 名倉弘哲



抗がん剤調製の風景

エマルゴトレインシステム

をご存知ですか？

エマルゴトレインシステム

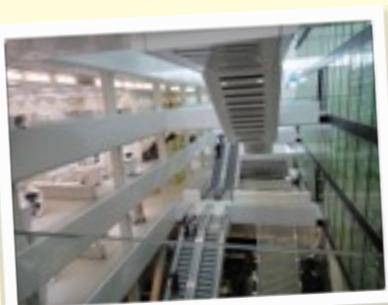
(Emergo Train System・ETS)とは、スウェーデンに於て20年以上前から開発されてきた救急・災害医療の教育および訓練に用いるための机上シミュレーションシステムで、彼国では全医療系関連学生が講習必須とされているトレーニングでもあります。

ETSは小～大規模災害時の救護体制、院内受け入れ態勢を綿密に考証できるシミュレーションシステムであり、各自治体や病院が備えている「災害マニュアル」が本当に役立つものであるのかを検証でき、また医療関係者が非常時にそれぞれどのような役割を担わなければならないか、などを体感できるシミュレーションでもありません。

当センターでは、副センター長の寺戸通久医師がこれの上級インストラクター資格を取得し、公式コース開催ができるようになりました。

今後、エマルゴコースを開催できるよう、当センターでは準備に入ります。

ご興味のある方は当センターまでお問い合わせ下さい。



歯学部門近況報告

8月25日から28日までアムステルダムのAcademic Centre for Dentistry Amsterdam(ACTA)という歯科大学で開催された第36回Association for Dental Education(ADEE)に参加しました。

ヨーロッパでのシミュレーション教育の実情を知ることが目的とし参加しましたが、シミュレーション教育に焦点をあてた発表があり、様々なシミュレーターの展示や紹介がなされていました。歯科においては従来から顎模型が装備されたマネキンを用いた教育がなされてきましたが、コンピュータが内蔵されたシミュレーターの開発を目の当たりにして、歯学教育が新たな方向に向かっていることを実感しました。

写真はACTAの歯科病院です。デパートと見間違えるような建物に最新の設備を整えた病院で、Shimodontというコンピュータ内蔵の歯科医療トレーニングシミュレーターが50台ほど装備されていました。オランダには歯科大学が3つしかない事情があるものの、その資金の豊富さに驚くと同時に羨ましく感じた次第です。

歯学教育部門 吉田登志子